

NewsLetter 2023.6 Vol.05

みなさんと
どんなひろばに
したいか話し合
いました。

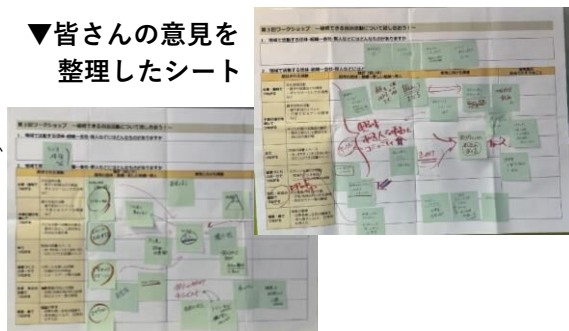


- 静岡市営住宅上土団地建替事業では、上土団地の建替えの中で、公園や集会所をリニューアルします。
- 静岡市では、ワークショップを数回開催し、入居者の方々や周辺にお住いの方々、地域活動を担うの方々から様々なご意見をいただき、地域活動の拠点となり、新たな魅力となる公園や集会所の在り方を検討していきます。
- ここでは、数回にわたり皆さんのご意見の内容を紹介していきます。

■第3回上土団地ワークショップを開催いたしました

- ・令和5年6月3日（土）に東千代田集会所にて「第3回上土団地建替ワークショップ」を開催しました。
- ・ワークショップは、昼の部と夜の部の2部構成で開催され、合計14名の地域住民の方々に参加いただき「ひろばの使い方について」話し合いました。
- ・当日は、常葉大学の池田浩敬先生（社会環境学部教授）も参加いただき、みなさんからの意見にもアドバイスをいただきました。

▼皆さんの意見を整理したシート



■ワークショップの意見を民間事業者公募（案）へ反映

- ・2回開催したワークショップで、地域住民の方々から様々な意見が出されました。
- ・新たなひろばや集会所が、地域活動の拠点となり、魅力あるひろば、集会所となるように、ワークショップで出された意見を民間事業者の公募に反映させます。

●民間事業者公募(案)へ反映される内容

※最終稿ではありません。この内容をもとに、関係各課等と調整の上、記載内容を整理します。

整備全体に関すること

- ・整備計画の策定にあたっては、パブリックコメント、アンケート調査結果、ワークショップニュースレターを反映し、地域住民に寄り添った計画とする。

集会所に関すること

- ・多様な活動が可能なフレキシブルな空間確保に努める。
- ・集会所と公園とは一体的な利用を考慮した、つながりのある空間づくりに努める。
- ・浸水対策に十分に配慮した建物とする。
- ・環境に配慮した設備導入を積極的に行い、災害時における活用も考慮した設計に努める。

公園に関すること

- ・子どもから大人まで安心して利用できる公園とするように努める。
- ・災害時に一時的に避難できる場所として防災に配慮した公園とするよう努める。
- ・四季を感じる植栽とする。
- ・道路との境界は、安全に配慮した設えとする。

第3回ワークショップで出された情報・意見

●地域で活動する団体について教えていただきました。

- ・自治会で「環境部」「スポーツ部」「ラジオ体操の会」
- ・消防団（17分団）の自主防災活動
- ・S型サービスでの活動



▲ワークショップ当日の風景

●継続できる自治体活動について話し合いました。

誰が（担い手）

仕事・趣味でつながる

- ・住民がラティイ運営の手作りサロン（S型サービス）
- ・地域の仲間2・3人で地域交流の場となる手作りカフェならできるかも。

継続・実現の課題

- ・活動の場が狭い。
- ・告知しても参加者がいない。
- ・戸建てと団地とでは、**地域活動の意識の違い**がある。

まず始められること

- ・団地と周辺住民の**交流の場をつくる**。
- ・カフェなどの交流の場づくり
- ・民間事業者と一緒に自分たちで**交流の場をつくる**。

子供の遊び場や本、健康づくり・スポーツでつながる

- ・ラジオ体操
- ・S型デイサービスの活動を通して、**ニュースポーツなどの備品を購入し、普及に取り組んでいる**。
- ・市が実施している**月2回の移動図書館**

- ・告知しても**子供の参加が少ない**。
- ・**子供会がない**。
- ・子ども会の役職をやってくれる親がいない。

- ・若い世帯が参加できる工夫
- ・S型サービスは子供～大人まで広げられるのでは
- ・**地域のニーズに合った組織づくり**。
- ・個人本の持ち寄り図書館に

防犯・防災の活動でつながる

- ・消防団が**自主防災組織**として黄色いリボンの活動や避難訓練などは実施。

- ・**防災の関心度が低い**
- ・自治会に入らない世帯も多いのが課題

- ・**防災には関心を持つ工夫**
- ・安全な場所を作ることで安心して活動ができる。

植物・緑でつながる

- ・自治会の環境部の方が、**個人で植え替え作業**を行っている。

- ・個人で活動するのは大変。

- ・一人の活動も**声掛けなどで広がる可能性**もある。個人～**地域交流へつながる**ような工夫。

池田先生からのアドバイス



- ・**地域活動に積極的な意見が多く**、とても有意義なワークショップでした。
- ・**防災意識の向上**などは、様々な**きっかけづくり**が必要となるため、**地域の方が集い、顔が見れる関係作り**がとても大切。
- ・ワークショップは3回で終わるが、維持管理を含む地域活動の醸成には、**継続して話し合える機会があれば良い**と思うので、是非続けていただきたい。

地域住民対象のアンケートにご協力をお願いします。



内容：ひろばの使い方について

- ・ワークショップに参加できなかった地域住民の方からも意見を頂き、今後の整備の参考にしていきたいと考えています。